

資料館と陶芸研究所では展示見学を、研修工房では作陶見学をお楽しみいただけます。やきもの、常滑焼の魅力を発見してみませんか？

陶芸研究所

常滑焼の伝統と芸術性を鑑賞できます。



平安末期から室町時代の古常滑や現代陶芸の作品を展示

堀口捨己設計の建物を体感しよう

日本のモダニズム建築のパイオニアで茶室の研究者、堀口捨己の設計。

大きく張り出した庇や左右非対称なデザインが力強さを表現しています。金、銀、紫等の色使い、茶室、屋上の三角屋根が見所です。



とこなめ陶の森 TOKONAME TOUNOMORI

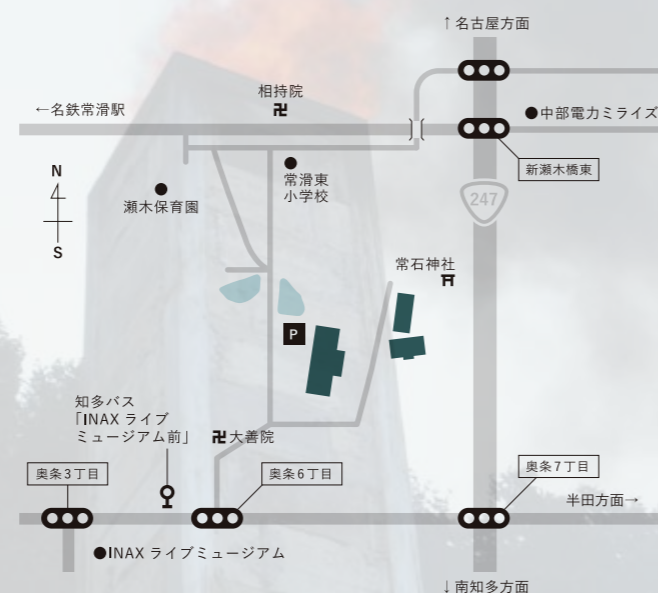
資料館 | 陶芸研究所 | 研修工房

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

交通アクセス

名鉄常滑駅からタクシーで約5分、徒歩約25分
名鉄常滑駅から知多半田駅行きバス「INAXライブミュージアム前」下車、徒歩約10分



E-mail: tounomori@city.tokoname.lg.jp

<http://www.tokoname-tounomori.jp>



資料館 〒479-0821 愛知県常滑市瀬木町4丁目203番地
TEL: 0569-34-5290 FAX: 0569-34-6979

陶芸研究所 研修工房 〒479-0822 愛知県常滑市奥条7丁目22番地
TEL/FAX: 0569-35-3970

常滑焼のすべてがわかる

とこなめ陶の森



とこなめ陶の森(資料館・陶芸研究所・研修工房の3施設の総称)は、常滑焼の振興と伝承・やきもの文化の創造と発信を行う常滑市の施設です。

資料館

常滑焼の歴史を学び、ふれて、楽しめます。



つながる千年、ひろがる千年、暮らしの中で生きる常滑焼

なぜ、常滑の地でやきものが栄え、どのようにして人々の暮らしを支えてきたのか、常滑焼千年の歴史をひも解きます。特別展示室の企画展ではお宝が見られるかも!?

《2021年10月リニューアル》



資料館



陶芸研究所



研修工房

- Museum
- Ceramics Research Institute
- Training Studio

研修工房



若い研修生の熱心な作陶風景を見学できます。



やきものづくりを生業とする人材を育てる
2年間の研修を通して、つくり手として巣立つことができます。

1200℃を超える炎を操る薪窯を通して、
やきものづくりの原点に触れます



TOKONAME TOUNOMORI MAP

発見！ 陶の森おさんぽマップ



資料館

常滑焼のタヌキはどこかな？

駐車場側から資料館の屋上をよ〜く
見てみると..... なにかいる！飛び立つ
ヒコーキを見つめるタヌキが見えるかも？



ケサワの坂

土管の焼成時に使用した焼き台を
敷き詰め、滑りにくいように工夫
されています。どこかに「常」の字
が隠れているよ。



資料館



とこなめ陶の森 こみち 小径

木漏れ日や鳥のさえずりが心地よい、一周約20分の散策コースです。奥には常石神社があり、春には参道が桜の名所になります。常石神社の駐車場からも陶芸研究所へアクセスできます。



陶芸研究所

いなちょうざぶろう 伊奈長三郎氏の 陶像

伊奈長三郎氏は、伊奈製陶(株)(現株LIXIL)の創業者であり、また、初代常滑市長です。伊奈氏は、常滑陶芸の興隆を念願し自社株式を市に寄附し、市はその資金で陶芸研究所を1961年10月に開所しました。

日本最大級の大皿

直径2.3m、重量450kgの常滑焼の大皿。近くに立って記念撮影しよう！

陶製ベンチ

1970年の日本万国博覧会に出品した色々な形の陶製ベンチが、敷地内のあちこちにあります。



陶芸研究所

やきものでできた長三郎さんと大きな陶製ベンチは、陶芸研究所の駐車場にあるよ！